

学部、学科の開設授業科目における専兼比率

短期大学部

| 学部・学科 |       |      | 必修科目                      | 全開設授業科目 |       |
|-------|-------|------|---------------------------|---------|-------|
| 短期大学部 | 両学科共通 | 教養教育 | 専任担当科目数(a)                | 0.00    | 31.00 |
|       |       |      | 兼任担当科目数(b)                | 0.00    | 44.00 |
|       |       |      | 専兼比率<br>( $a/(a+b)*100$ ) | —       | 41.33 |
|       |       | 専門教育 | 専任担当科目数(a)                | 18.12   | 71.72 |
|       |       |      | 兼任担当科目数(b)                | 16.88   | 40.28 |
|       |       |      | 専兼比率<br>( $a/(a+b)*100$ ) | 51.77   | 64.04 |

- ① 学部のみを記載すること。
- ② 実働している科目数のみを記載すること。卒業要件の可否は問わない。募集停止している学部、学科も、学生が在籍している場合は記載すること。
- ③ 「専任担当科目数」欄は、他学部・大学院研究科・研究所等の専任教員による兼任科目も含めること。
- ④ 「専門教育」欄及び「教養教育」欄は、大学の設定する区分に応じて名称を記載すること。
- ⑤ セメスター制などを採用しており、各学期ごとの状況に差がある場合は、学期ごとに作表すること。
- ⑥ 複数の学部、学科等にまたがる場合は、共通の欄を新たに設けて記載すること。
- ⑦ 同一科目を週複数回実施している場合、同一教員による実施で専任教員が担当する場合は、専任担当科目数が1、兼任教員が担当する場合は、
- ⑧ 実験、実習等一つの科目を兼任教員を含む複数の教員が担当する場合は、人数比による数値を記載すること。（例：専任4人、兼任1人で担当の
- ⑨ 小数点以下の端数について、小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位まで記載すること。
- ⑩ 大学院大学の場合は、学部を研究科、学科を専攻に読替え、実情に応じて記載すること。